バック、支柱破損

事故事例KYT資料　Vol.1（7月）

2017年7月
発行：コマツ物流株式会社
地域物流部

トラック後退時、支柱破損

1．発生日時：　2013年　10月　9日(水)　　AM　5時　15分　頃　　天候：台風による大雨

2．発生場所：　□□精機株式会社　伊賀事業所　（三重県伊賀市）

3．事故当事者：　所属：○○運輸㈱　　職種：トラックドライバー
年齢：40歳 勤続年数：2年　　経験年数：3年　（10t車乗務）
免許取得後：7年経過　　車両：10tウィング車（車幅：2,500mm）
社員区分：■正規社員　□期間社員　□派遣社員　□その他（　　）

4．事故概要：　作業名：トラック後進時　　作業・安全標準書の有無：□ 有　■ 無

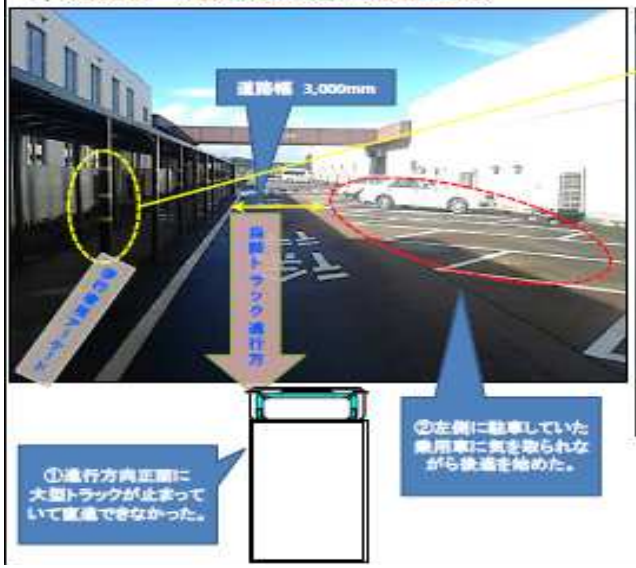
10/9 AM5:07　□□精機株式会社　伊賀事業所に到着し、正門から入門した。

10/9 AM5:15　正規進路に大型トラックが止まっていて直進出来ない為、後進を試みた。

10/9 AM5:15　左側に駐車している乗用車に気を取られながら後進を開始した直後、何かに当たったような気がしたので、トラックから降車して歩行者用アーケードの支柱を確認した。支柱に傷があることを目視確認したが、自車トラックと支柱の傷及び当たった箇所が違うと考え、一旦前進して切り返して続けて後退し、隣降し場に向かった。

10/9 AM8:10　納品作業が完了し、周囲も明るくなったので現場に戻り再度確認をしたところ歩行者用アーケードの支柱に穴及びすり傷、自車トラック右後方部に接触痕（破損）があることを確認した。

5．状況写真　（写真がない場合ポンチ絵でも可）



事故の原因はどこにありますか？

KYT実施協力会社様回答より抜粋（7社）

① 周辺に駐車車両があり、構内道路も狭いのに降車確認を怠った
② 正規進路にトラックが停車していた事が疑問ですが、停車トラックに気を取られ右側の支柱の確認がおろそかになった
③ 左右後方の確認不足でバックした為
④ 早朝悪天候で視界不良なのに、後方確認を怠った
⑤ 後進時の速度は左右の確認が出来る速度でなかったのでは？
⑥ 本来後進で走行する経路ではない

どのような対策が考えられますか？

KYT実施協力会社様回答より抜粋（7社）

① 周辺に車両が駐車していたり狭い場所でバックする時は降車して安全を確認する
② 周囲の確認の徹底
③ 特に後進時は死角が多い為、左右の障害物や歩行者に十分注意する事
④ 狭い現場等では一度降車して周囲の安全を確認してから後進する
⑤ 誘導員がいる場合は、打合せ後誘導してもらう事
⑥ 悪天候でも面倒がらずに降車して目視確認する
⑦ 停車しているトラックを移動してもらう
⑧ 構内ルールを守った走行をする

コマツ物流より

10月9日の三重県の日の出は6時位です。事故が起きた時間は5時15分頃ですので暗く、その日は台風による大雨で視界はかなり悪かったと思われます。

普段直進して進むべき所にトラックが止まっていて後進を試みた。このようにいつもと違う場合での事故は多いです。要注意といわれる3H作業（変化、初めて、久しぶり）です。

暗く大雨ならなおさら面倒がらずに降車して目視確認が必要ではと思います。
過去にも早朝や夕暮れの見ずらい時間帯での接触事故は多く発生してます。

前方で停車していたのは納品のトラックです。もし納品が終わり前方トラックが発進するまで待機していれば後進せず事故は防げたかもしれません。

構内でのバック走行は先ず降車して目視確認をおねがいし、この事故のケースのよういつもと違う走行をする場合は要注意であり、何が新たに危険なのか危険予知を行う事が必要だと思います。

天倉